AsahiKASEI
旭化成ホームズ

環境大臣認定
エコ・ファースト企業

未来の
ために、
いま選ぼう。

ミックス
紙｜責任ある森林
管理を支えています
FSC® C005531

Printed with UV ink
VOC Free

旭化成ホームズ サステナビリティレポート 2024

旭化成ホームズグループ

サステナビリティレポート

ALL for LONGLIFE

〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

ASAHI KASEI HOMES CORPORATION

Sustainability Report 2024

LONGLIFEで、サステナブルな未来へ。

旭化成ホームズグループは、創業当時より世代を超えて住み継がれる
上質で長持ちする住宅を提供し、「LONGLIFE」の実現を目指してきました。
社会は想像を超えるスピードで変化しています。今日では、地球環境保全をはじめ、
社会課題に対して、企業の果たす責任が重要性を増してきました。
旭化成ホームズグループではこれまでも商品・サービスの提供を通じた
社会課題の解決に取り組んできました。そして、その取り組みはますます広がりを見せています。
私たちは、「LONGLIFE」の実現がサステナブルな社会の実現につながると考え、
これからもお客様と共に歩み続けます。

Contents

04 サステナビリティ方針

05 マテリアリティ

06 **Top Message**

08 特集 RE100の取り組み

10 **With Customer**
LONGLIFEな商品・サービスの提供による事業を通した社会への貢献

12 **With Environment**
豊かな地球環境の保全とより良い環境の創造

14 **With Employee**
多様な人財が成長・活躍し、幸せを実現できる職場づくり

16 **Our Integrity**
誠実な事業運営を通じて信頼を築く

18 旭化成ホームズグループ概要

編集方針

本レポートは、旭化成ホームズグループのサステナビリティ方針に基づく活動等について、ステークホルダーの皆様に広くご理解いただくことを目的としています。報告テーマの選定にあたっては、当社が設定している「マテリアリティ」を前提とし、WEB掲載レポートを再構成しています。右記二次元バーコード(または下記URL)より、全報告をご覧いただけます。

https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/sustainable/report/index.html/

参考とするガイドライン等

□環境省「環境報告ガイドライン2018」 □ISO26000:2010 □GRIスタンダード

対象期間

2023年度(2023年4月～2024年3月)
なお定性的な情報に関しては、2024年4月～7月の情報についても一部掲載しています。

想定している読者対象

お客様・お取引先様・地域社会・行政・社員・NGO・NPOなどステークホルダーの皆様

対象報告範囲

旭化成ホームズ株式会社　旭化成不動産レジデンス株式会社
旭化成リフォーム株式会社
旭化成ホームズコンストラクション株式会社
※2024年4月に旭化成住宅建設株式会社とAJEX株式会社が統合
旭化成ライフライン株式会社　旭化成住工株式会社
旭化成ホームズフィナンシャル株式会社　旭化成設計株式会社
旭化成ホームズ少額短期保険株式会社　リーシュライフケア株式会社
株式会社コネプラ　旭化成不動産コミュニティ株式会社
旭化成不動産サポート株式会社　旭化成住工ベトナム有限責任会社(AJV)
NEX Building Group　Synergos Companies　台灣旭化成都市開發股份有限公司

旭化成ホームズグループ サステナビリティ方針

永く愛され続ける企業へ

私たちは、時代のニーズを的確にとらえ研究し、新しいくらしや住まいを提案し続けてきました。その中で生まれた「LONGLIFE」という言葉は、事業活動や関わる人々すべてが永続的に幸福であることを表しています。
私たちは、お客様へ商品・サービスを通じて快適な生活を将来にわたって約束することおよび、それらを生む当社やバリューチェーン全体の関係者の期待に応え、信頼される存在でありたいと願っています。
私たちは、人びとに必要とされ、感謝され、愛され続ける企業を目指します。

01	事業を通じた社会的価値の創出（新たな価値の創出）	「LONGLIFE」を軸とした“いのち”“くらし”“人生”に関わるさまざまな商品やサービスを通じて、人びとの安全・安心を守り、環境への配慮を行い持続可能な社会の形成に貢献します。
02	誠実な業務遂行	法令および社会的な規範を含む企業倫理を遵守し、誠実な姿勢で責任を持って業務を遂行します。
03	人権の尊重	バリューチェーン全体におけるステークホルダーの全ての皆さまの人権を尊重し、あらゆる差別を認めません。
04	環境への配慮	事業活動において環境に対する負荷を軽減するとともに、自然との共生を実現するための活動を積極的に進め、次世代に豊かな地球環境を引き継ぎます。
05	人財を活かす安全で安心な職場の構築	多様な人財が活躍できる育成体制を構築し、公正で公平な雇用関係の維持をベースとして、安全で健康的な、働きがいのある職場づくりを目指します。
06	社会とのコミュニケーション促進と協働	情報開示を含む社会とのコミュニケーションを促進し、多様なステークホルダーの皆様と共に当社の知識や経験を活かした社会貢献活動を積極的に行います。

マテリアリティ

旭化成ホームズグループとして優先し積極的に取り組む課題を明確にするために、旭化成ホームズグループとステークホルダーの双方にとって重要性が高い社会課題をマテリアリティ（重要課題）として絞り込み、18のマテリアリティを「4つのテーマ」にまとめました。

LONGLIFEの実現へ。

	テーマ	マテリアリティ
事業を通じて共に実現したい姿	With Customer LONGLIFEな商品・サービスの提供による事業を通じた社会への貢献	•社会課題の解決に貢献する商品開発 •安全・安心な街づくり •防災・減災への貢献 •知的財産権の有効活用
事業を通じて共に実現したい姿	With Environment 豊かな地球環境の保全とより良い環境の創造	•気候変動の緩和 •気候変動への適応 •エネルギー消費量の削減 •持続可能な資源の利用 •生物多様性の保全
事業を通じて共に実現したい姿	With Employee 多様な人財が成長・活躍し、幸せを実現できる職場づくり	•ダイバーシティの推進 •生産性の向上 •人財の確保と育成 •労働安全衛生の確保 •高品質で安全な製品の提供
価値創出基盤	Our Integrity 誠実な事業運営を通じて信頼を築く	•コンプライアンス経営の推進 •情報セキュリティの確保と個人情報保護 •サプライチェーンマネジメントの強化 •ステークホルダーエンゲージメント

Top Message

財産である社員の成長を事業の成長につなげ、社会から必要とされるEssential Companyを目指します

旭化成ホームズ株式会社
代表取締役社長
川畑 文俊

創業から息づいているサステナブルな社会への想い

素材メーカーであった旭化成が住宅づくりという新たな事業領域に進出したのは、今から52年前の1972年です。旭化成にとって住宅事業やB to Cの市場など未経験の分野に飛び込んだことから、事業の立ち上げは当時、大きな挑戦でした。それでも、大きな一歩を踏み出す決意をしたのは、旭化成の創業から変わらぬ“人びとがよりよい生活を実現できるように”という想いがあったからに他なりません。当時は、国内の住宅が不足しており、建物の品質も現在ほど高いものではありませんでした。そこで、当社は「素材メーカーならではの頑強で堅牢な住宅づくりで社会に貢献すること」を目指して、住宅事業をスタートしました。

1970年代においては、家は30年程度で建て替えるものといった風潮があり、旭化成ホームズの“頑丈で長持ちする家づくり”は、当時の住宅業界のトレンドとは少し異なっていたかもしれません。しかし、50余年が経った今、世界中がサステナブルな社会を目指しており、当社グループの「ロングライフ住宅」に寄せていただくお客様や社会からの期待は、非常に高まっていると感じています。先輩方が50年以上前に抱いた「日本の住宅を吾等の力で向上させる」という想いと志を引き継ぎながら、私たちはサステナブルなくらしを社会に提案し続けていきたいと思っています。

ビジネスを成長させ続けることで、持続可能な社会貢献を

私たちが持続可能な社会貢献を実現していく上で、事業の継続的な成長は不可欠です。2024年度は、当社グループが掲げる「Challenge & New Growth」を基本方針とする中期経営計画の最終年度となりますが、3年連続で過去最高の売上と利益を更新しています。また、すべての事業で黒字を継続しており、2017年から豪州、北米で展開している海外事業も着実に成長しています。お客様の満足度についても、2020年度以降は、入居時・1年時・中長期・リフォームとすべての指標が右肩上がりとなっています。これらの成果は、建築請負からアフターメンテナンス、リフォーム、不動産仲介、賃貸管理、金融・保険までサービスを提供できる旭化成ホームズグループのバリューチェーンを強化することで生まれています。

そして、この原動力となっているのが、社員の努力と成長です。創業時から「人財の成長＝事業の成長」という考えを大切にしてきましたが、コロナ禍に直面しても社員一人ひとりがビジネスと働き方の変革に柔軟に対応し、お客様の期待に応え続けたことが、まさに事業の成長につながっていると実感しています。そして、2030年のあるべき姿「Vision for 2030」の第1ステップとして掲げた「2025年に売上高1兆円」の達成に向けて、着実に前進できていると感じています。

4つのテーマからなるマテリアリティについて

旭化成グループでは、2017年度に取り組むべき重要課題・テーマを「旭化成グループのマテリアリティ」として特定しました。当社でもサステナビリティ委員会において重要課題の検討を行い、「With Customer」「With Environment」「With Employee」そして「Our Integrity」という4テーマからなるマテリアリティを2023年度に特定しています。

4つのテーマの中で、With CustomerとWith Environmentを象徴する取り組みが、ヘーベルハウスやヘーベルメゾンの屋根で太陽光発電した余剰電力を買い取る「ヘーベル電気」のサービスです。お客様から買い取った電力を施工現場等の事業活動で使用する電力に活用することで、当社グループは「RE100」の目標達成に取り組んでいます。当初は2038年度の達成を見込んでいましたが、お客様から当初の想定以上の電力買取の契約をいただくことで、2023年度に大幅に前倒して目標を達成できました。これは、旭化成ホームズグループの社員がこれまでに安全で快適な住まいづくりに真摯に向き合い、定期メンテナンスやHEBELIAN NET.（HEBEL HAUSのオーナー様サイト）などを通じてお客様と築いてきた信頼関係の証であると感じています。ヘーベルハウスやヘーベルメゾンのお客様と一緒になって環境に貢献するこの取り組みは、当社グループならではのサステナビリティ活動であり、With CustomerとWith Environmentを連動させることができたと考えています。

With Employeeについては、これまでもさまざまな取り組みを実施していますが、より一層注力していかなければならないと感じています。先ほどお話しした通り、当社の価値創出の源泉は「人」です。多様な人財が成長・活躍し、幸せを実現するために、働き方改革やDXをはじめとするオフィスなどの環境整備、在宅・フレックス等の勤務形態の柔軟化をさらに推進し、社員一人ひとりが理想のキャリアを歩んでいくための支援を続けていきたいと考えています。また、旭化成グループは「健康経営優良法人2024～ホワイト500～」の認定を受けておりますが、71項目の指標を設けて組織状況を診断する「活力と成長アセスメント（KSA）」やストレスチェック（e診断）などを活用しながら、今後も社員の健康と心理的安全性が確保された職場環境づくりに努めていきます。そして、社員と組織の活性化の土台として、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの取り組みも推進していかなければなりません。この点に関しては、制度の充実だけではなく、制度を利用しやすい環境をつくっていくことが重要であり、多様性についての理解浸透や管理職登用に関する意識改革を進めています。私自身もキャリア採用の社員との座談会を企画・開催したり、他の役員も各事業本部を訪問するなどして、積極的に社員の声を聴く機会を増やしています。当社の強み・課題がどこにあるのかを把握する良い機会になっています。

最後のOur Integrityには、「誠実」「真摯」といった意味があり、具体的にはコンプライアンスや情報セキュリティ、社会貢献などの取り組みを指します。これらは事業を行う上での大前提であり、3つのマテリアリティのテーマの基盤となります。社会課題は日々変化するものですが、いかなるときにも重要であるのは誠実に事業を継続することだと考えます。事業領域やサプライチェーンが拡大していく中でも、創業から脈々と受け継がれてきた誠実さ・真摯さを盤石なものにしていくため、Our Integrityをマテリアリティに掲げています。

社会から必要とされるEssential Companyに向けて

当社が目指すありたい姿は、「お客様や社会、社員にとって真に価値のある会社、Essential Company」です。優良な企業として認められるだけではなく、お客様から感謝していただける、世の中から必要とされる会社を私たちは目指していきたいと思っています。

ありたい姿にある「価値」とは、財務・非財務の双方の価値を意味します。財務面では堅調な成長を遂げており、計画も順調です。この状況を維持しながら、非財務における価値向上も目指していきます。そこでカギとなるのは、やはり社員の力です。先ほどお話したキャリア採用の社員との座談会で、当社グループの印象を必ず聞くのですが、「皆さん本当に“お客様のために”働いている」「質問をすると、必ず手を止めて向き合って相談に乗ってくれる」という声がいくつもあがってきます。そんな話を聞いて、私は改めて旭化成ホームズグループの財産と誇りは、人であると実感しました。だからこそ、社員がさらなる成長をしていけるように、スキルアップやコミュニケーション活性化の仕組みづくりや環境を構築するための投資を惜しまず、続けていきたいと思っています。

社員一人ひとりが自身の価値を高めて、お客様や社会への貢献度を高めていく。その積み重ねによって、私たちの考えるEssential Companyを実現していきます。

特集

RE100の取り組み

「RE100」とは?

「RE100」は、事業活動で使う電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す世界的な企業連合です。参加企業が事業活動で使う電力を再生可能エネルギーに早急に切り替える姿勢を示すことで、再生可能エネルギー市場の拡大に大きな影響を与えます。

旭化成ホームズグループは、カーボンニュートラルの実現へ貢献する一つの手段として、2019年9月に「RE100」に参加、2023年度に目標を達成しました。

「RE100」の達成は、お客様との信頼関係の証

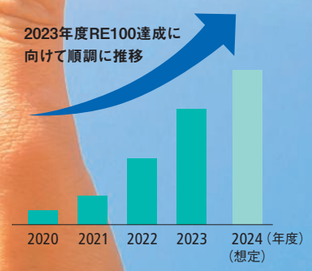
旭化成ホームズグループが設計・施工・維持管理等を行う戸建住宅「ヘーベルハウス」および賃貸住宅「ヘーベルメゾン」に設置されている太陽光発電設備は、国のFIT制度※により、設置から10年は余剰電力の買い取り価格が保証されます。しかし、期間終了後(=卒FIT)には買い取り価格が大幅に下がります。旭化成ホームズでは、「ヘーベル電気」の事業を通じて「卒FIT」となる太陽光発電設備の余剰電力を買い取り、「RE100」達成に向け活用しています。

※再生可能エネルギーの固定価格買取制度(Feed-in Tariff)

HEBEL HAUSで発電した電力はお客様が販売先を選ぶことができますが、予想以上に多くのお客様が当社に売電をしてくださいました。2023年度、海外を含む旭化成ホームズグループの使用電力量の約39.0GWhに対し、「ヘーベル電気」による余剰電力買取量は約43.0GWhとなり、「RE100」を達成しました。これは、1998年に導入したHEBEL HAUSの定期点検システムを、2019年に業界初の60年間の無料点検システムに発展させるなどで、お客様と築いた強い信頼関係によるものだと考えています。

■「ヘーベル電気」の卒FIT買い取りと活用のイメージ

■卒FIT買取量の推移(GWh/年)



オーナー様に寄り添ったご案内をすることが社会のためにもなる

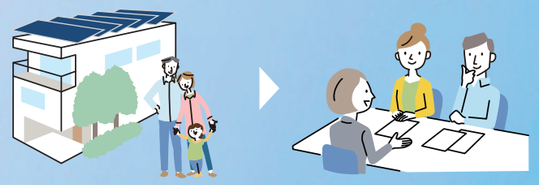
旭化成ホームズ
住宅事業関西・西日本本部
岡山支店
ホームサービス課
大木 秀和

ホームサービス課では、「60年無料点検システム」に基づき、定期的にオーナー様のHEBEL HAUSに訪問し点検を行っています。特にFIT期間が満了するオーナー様の10年目点検時には、「ヘーベル電気」の取り組みについて事前にご案内しています。

「ヘーベル電気」の太陽光発電買取サービスでは、高水準な買取価格に加え、関連設備の保証期間も5年間無料で延長しています。「RE100」達成において非常に重要なサービスというだけでなく、オーナー様にもメリットがあるからこそ、積極的にご加入の案内を行っているのです。ご契約が「RE100」達成、ひいては環境貢献につながると考え、すべての人が暮らす社会のためにもサービスのご案内を行っています。

旭化成ホームズグループがつなぐ「環境貢献」の輪

「RE100」の取り組みでは、旭化成ホームズグループで使用する電力として、これまでに建築されたHEBEL HAUSでお客様が作り出す再生可能エネルギーが、間接的に新たなお客様に届けられます。例えば、10年以上お住まいのHEBEL HAUSで発電した電気は、新たなお客様との打ち合わせで使う電力などの再生可能エネルギー化に活用されます。



私たちはお客様が生み出した価値を、新たなお客様・旭化成ホームズグループに関わるすべての人につないでいます。この「環境貢献」の輪を広げることで、人と社会、地球環境のLONGLIFEの実現を目指していきます。

私たちとRE100

HEBEL HAUSの建築計画から工事まで、私たちが事業活動で使う電力はすべて再生可能エネルギーで賄われています。この再生可能エネルギーは、HEBELIAN NET.や各種アフターサービス活動など、お引渡し後もお客様に寄り添い続けるさまざまなサービスを通じて得られたものです。「RE100」を通じてつながる事業活動と環境貢献について、社員に聞きました。

新築工事担当

旭化成ホームズ
住宅事業神奈川本部
技術部 厚木工事課
中島 大

環境意識が高い子どもたちにも誇れる「未来につながる」家づくりの現場へ

工事担当は、工事に携わるすべての方とコミュニケーションをとりながら、お客様にご満足いただける家を完成させます。最近では、職人さんと話す中でも環境問題への意識の高まりを感じます。

一方で、環境貢献を業務の中で意識することは難しいと感じていましたが、「RE100」達成の取り組みは身近なものだと知りました。建築現場に供給される電気はHEBEL HAUSの発電由来の再生可能エネルギーで「ヘーベル電気」をご案内してきた自分の働きも環境貢献につながっていたと感じて、誇らしい気持ちです。

HEBEL HAUSは災害に強いイメージが定着していますが、今後は「RE100」の達成を通じて環境貢献に真剣に取り組んでいることをお客様や職人さんにも伝えたいです。

リフォーム営業担当

旭化成リフォーム
中部営業所 営業4課
荒井 知佳

変わりゆく環境のなかでも変わらない「HEBEL HAUSの良さ」で人生に寄り添う

3人の子どもを育てる中で、子どもが社会課題の解決に真剣に向き合っている姿を見て、私も環境貢献を意識し始めました。

「RE100」達成は、これまでにHEBEL HAUSを建築いただいたオーナー様方のご協力のおかげです。新築請負の営業をしていた際、私が担当した多くのオーナー様に「ヘーベル電気」の太陽光発電買取サービスをご契約いただきました。私の働きかけも環境貢献につながっていたと思うと、とてもうれしいです。

近年、電気代の高騰や災害の激甚化が社会課題となっています。暮らしの不安の排除と環境貢献の両立に向け、リフォーム事業で太陽光発電設備や蓄電池の設置をさらに推進し、オーナー様に末永く寄り添い続けていきたいです。

With Customer

LONGLIFEな商品・サービスの提供による事業を通した社会への貢献

私たちは、創業以来、お客様のニーズにこたえ、安全・安心・快適な住まいの提供を通じて住まいの課題解決を追求してきました。これからも住まいやサービスを通じてお客様や地域社会の皆様に寄り添い、共に社会課題の解決に貢献していきます。

マテリアリティ	KPI	2023年度実績	2025年度目標
社会課題の解決に貢献する商品開発 安全・安心な街づくり 防災・減災への貢献 知的財産権の有効活用	お客様満足度（入居時）	85.5%	85.0%
	お客様満足度（中長期）	72.2%	75.0%
	長期定期点検実施率	62.6%	70.0%
	築40年以上の外装メンテナンス実施率	66.2%	68.0%
	ストック取扱い棟数	257棟	策定中
	HEBELIAN NET.登録者数	17.1万人	策定中

01

安全・安心な街づくり

アフターサービス活動

旭化成ホームズのアフターサービスは、「へーベリアンセンター」と「ホームサービス課」が担っています。へーベリアンセンターでは、お客様のご連絡窓口として困りごと解消のお手伝いを担当。ホームサービス課では定期点検を実施し、安全上の問題や将来的な不具合を未然に防いでいます。点検実施率の向上と適切なメンテナンス工事の提案・実施により、資産価値を守ることに加え、くらしを豊かにするためのさらなる価値提供を行います。

02

安全・安心な街づくり

第10回ジャパン・レジリエンス・アワード2024年 最優秀賞受賞「マンション建替え研究所」

旭化成不動産レジデンスは、高経年マンション再生にかかわる社会の知見不足解決を目指し、2011年に「マンション建替え研究所」を設立。マンションの建替えに関するシンクタンクとして、情報の収集や分析・発信を行うとともに、マンション建替え実践講座の定期開催などを通じ、さまざまなケースの建替えをサポートしています。これまで48件の建替え実現に寄与しました。

03

防災・減災への貢献

レジリエンス・アワード 最優秀賞受賞「LONGLIFE AEDGiS」

旭化成ホームズの防災情報システム「LONGLIFE AEDGiS」は、独自システムを活用し、災害時にはすべてのへーベルハウス・へーベルメゾンの被害状況を即時に把握します。また、被害情報に対応した減災情報を提示し、お客様に安心を提供します。他にも、取得情報を基に建物の被害状況に応じて優先順位を判断し、災害対応の効率化や復旧工事の早期開始につなげ、発災後のお客様の暮らしを支援します。

04

社会課題の解決に貢献する商品開発

シニア向け賃貸住宅「へーベルVillage」健康長寿の取り組み

GOOD DESIGN AWARD 2023

へーベルVillageでは、設備による見守りなど安心・安全に配慮した設計に加え、相談員が定期的に訪問し、日常生活の健康行動を後押しします。安心・安全と健康長寿な暮らしを実現する取り組みが評価され、2023年グッドデザイン賞を受賞しました。今後もへーベルVillageを通して「健康で長生き」な社会づくりを目指します。

社会課題の解決に貢献する商品開発

安全・安心・快適な住まいと暮らしを豊かにする商品やサービスを提供しています。お客様の人生に寄り添い、多様なライフスタイルや住環境に合わせた新しい住まい方を提案しています。

安全・安心な街づくり

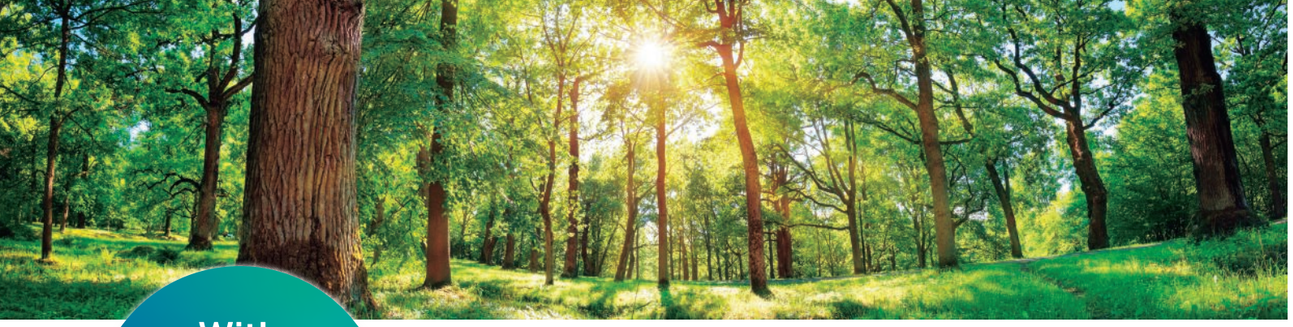
お客様のいのちを守り、くらしを豊かにし、人生を支える「LONG LIFE」の考えに基づき、周辺地域を含めた安全・安心なくらしの実現に取り組むとともに、災害発生時にも人々の暮らしを支え続けられる街づくりを目指しています。

防災・減災への貢献

従来経験したことがないような大規模災害リスクが顕在化する近年、日頃の防災対策に加え大規模災害に備えたリスク管理が重要です。リスク管理を進化させ、災害に強い未来をお客様と一緒に築いていきます。

知的財産権の有効活用

私たちは、「高度化する事業の利益を守り、かつ、事業の価値の最大化を実現する」ことを目指しています。知的財産を含む無形資産を、社会動向やニーズをとらえて戦略的に創出・管理・活用し、企業価値の向上につなげます。



With Environment

豊かな地球環境の保全と
より良い環境の創造

私たちは、環境活動への対応を社会全体の優先的な課題と考えています。再生可能エネルギーを確保し有効活用すること、防災力の高い住宅の提供や地域社会も含めた災害復興など、気候変動の緩和と適応に努めるだけでなく、生物多様性の保全にも継続的に取り組んでいきます。

マテリアリティ	KPI	2023年度実績	2024年度目標	2025年度目標
気候変動の緩和 気候変動への適応 エネルギー消費量の削減	ZEH率	88%	90%	90%
	ZEH－M率	75%	80%	85%
	ATLASおよびATLASリベルタZEH率	25年度竣工物件:83.3% 26年度竣工物件:100%	—	100%
	サプライヤーエンゲージメント	48.2%	50.0%	60.0%
	配送効率化	達成	△2.0%	△2.0%
	卒FIT買取率	67.0%	70.0%	70.0%
	RE100達成	100%	100%	100%
	社有車電動化	69.6%	—	70.0%
	既存住宅太陽光設置数	640件	800件	1000件
	断熱改修工事件数	347件	500件	700件
持続可能な資源の利用	新築廃棄物リサイクル率	100%	100%	100%
生物多様性の保全	まちもり採用率	30.5%	—	50.0%

01

気候変動の緩和・気候変動への適応・エネルギー消費量の削減

ヘーベルハウス・ヘーベルメゾンのZEH・ZEH-M

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、旭化成ホームズでは高性能断熱材(ネオマフォーム)の標準化によるエネルギー消費量の削減に貢献。太陽光発電システム搭載の標準化により2023年度のZEH率は大きく向上しました。集合住宅においてもZEH基準の賃貸住宅の普及を継続しており「ZEH-M」の建築実績も伸びています。ZEH率のさらなる向上を目指すとともに、災害後の生活を維持するトータルレジリエンス(総合防災力)を備えた住宅の普及活動も行っています。

02

気候変動の緩和・気候変動への適応・エネルギー消費量の削減

省エネ大賞受賞 自家消費型ZEH-M「Ecoレジグリッド」

旭化成ホームズでは、都市部の住宅の屋根を活用し太陽光発電設備と蓄電池を設置できる独自の自家消費型ZEHヘーベルメゾン「Ecoレジグリッド」を提供しています。Ecoレジグリッドから創出される再生可能エネルギーを含む電力は、入居者様への供給と旭化成ホームズグループの事業活動に活用。自家消費率の向上への取り組みや入居者売電型と自家消費型の両輪でZEH-M普及を推進した点が評価され、省エネ大賞を受賞しました。

03

生物多様性の保全

自然共生サイトに「あさひ・いのちの森」認定

「あさひ・いのちの森」は旭化成富士支社内の工場跡地に創出した約1haの人工の森であり、富士市沿岸部の原風景の再生を目指しています。2020年度には、森を活用した地域への環境貢献を目的とする産学共同研究を常葉大学と開始。現在も「里山林」「自然林」「湿地」の3エリアで継続検証しています。継続的な調査・研究の成果や生物多様性の価値が認められ、2023年10月には環境省が初めて認定した自然共生サイトに「あさひ・いのちの森」が認定されました。

04

生物多様性の保全

「まちもり®」の推進

「まちもり」とは、「あさひ・いのちの森」で得た植生の知見を生かし、住宅の外構計画向けに独自開発した植栽手法です。高さの異なる植栽を地域の植生を意識し組み合わせることで、多種多様な生き物が集まりやすくなります。また、街路樹や公園などの緑とをつながることで地域一帯に「エコロジカル・ネットワーク」を形成します。さらに、大規模開発を伴うマンション建設にも「まちもり」を採用。都市における生物多様性保全の推進にも貢献しています。

気候変動の緩和・気候変動への適応・エネルギー消費量の削減

再生可能エネルギー設備の導入推進や、ZEHや防災力の高い住宅の提案を通じ、事業活動全体での温室効果ガスの排出量削減や自然災害に強い住まいの提供に取り組むとともに、「2050年のカーボンニュートラル」に貢献します。

持続可能な資源の利用

住まいの長寿命化や既存建物の利活用、事業活動で発生する産業廃棄物のゼロエミッション化に向けた3R活動を行っています。また、資源の有効活用をはじめ、持続可能な資源利用を行い、循環型社会の構築を目指します。

生物多様性の保全

「あさひ・いのちの森」などの自然環境施設を創設し、生物多様性の保全に関する調査・研究を行っています。知見を「まちもり」を通じて事業活動に生かすことで、皆様と共に自然と調和する社会の実現を目指します。

With Employee

多様な人財が成長・活躍し、
幸せを実現できる
職場づくり

私たちは、共に働くすべての人の安全・心身の健康・幸せを実現します。社員一人ひとりが夢や誇りを持っていきいきと働き、サプライチェーンの皆様と協働することで大きなシナジーを生み出していきます。

マテリアリティ	KPI	2023年度実績	2025年度目標	集計範囲
ダイバーシティの推進	管理職に占める女性の人数(2021年度末からの増加率)	28.5%	2021年度比 40%増	◎
	育児休業取得率	男性66.4% 女性98.8%	男性100% 女性100%	●
	新卒採用者に占める女性の割合	46.5%	40%以上	◎
生産性の向上	有給休暇取得率	62.7%	70%	●
人財の確保と育成	新規採用者に占めるキャリア採用者の割合	30.5%	40%	◎
	KSA「成長につながる行動」	3.69	実績開示	●
労働安全衛生の確保	e診断の総合健康リスク※1	80	実績開示	●
	施工現場の休業災害度数率※2	1.16	実績開示	○
高品質で安全な製品の提供	旭化成ホームズ建設技術教育センター 利用延べ人数／延べ時間	3,345人／ 26,760時間	実績開示	○

集計範囲
●:旭化成ホームズ㈱、旭化成不動産レジデンス㈱、旭化成リフォーム㈱、旭化成ホームズコンストラクション㈱、旭化成ライフライン㈱、旭化成住工㈱、旭化成ホームズフィナンシャル㈱、旭化成設計㈱、旭化成ホームズ少額短期保険㈱、リーシュライフケア㈱、㈱コネプラ
◎:旭化成ホームズ㈱、旭化成不動産レジデンス㈱、旭化成リフォーム㈱、旭化成ホームズフィナンシャル㈱、旭化成設計㈱、旭化成ホームズ少額短期保険㈱、リーシュライフケア㈱、㈱コネプラ
○:旭化成ホームズコンストラクション㈱、旭化成ライフライン㈱
※1 全国平均を100とする
※2「度数率」とは、100万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表す。HEBEL HAUSの新築施工現場で発生した、休業1日以上を集計。委託施工業者を含む(事業主、一人親方を含む)

01

ダイバーシティの推進

女性社員の活躍の推進

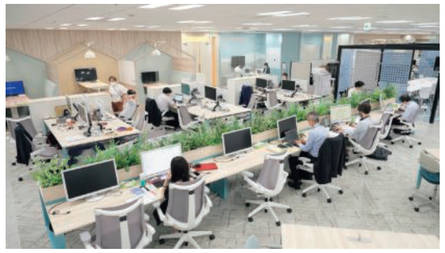
旭化成ホームズグループは、さまざまな価値観やバックグラウンドを有する多様な人財がともに活躍できる環境の実現に取り組んでいます。その一環として女性管理職数の目標を掲げ、育児・介護の両立支援制度の充実だけでなく、女性採用の推進、経営管理職を対象としたメンタープログラムや社外研修への参加推進など、女性管理職登用のための視野拡大を目的とした育成施策も進めています。

02

生産性の向上

自分らしく働ける環境づくり

社員の多様な働き方の支援と生産性の向上を目的に、さまざまな制度の運用を進めています。2023年にはフレックスタイム制度と在宅勤務制度を運用開始。フリーアドレスの併用により、社員が自身にとって最適な時間や場所を選択して効率的に働くことができ、生産性向上が期待されます。また、ワークライフバランスの実現に向け有給休暇と育児休業の取得を促進。制度の理解浸透と好事例の展開により、休暇を取得しやすい環境づくりを目指します。



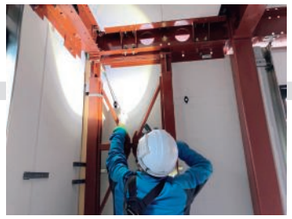
03

高品質で安全な製品の提供

旭化成ホームズ建設技術教育センター

旭化成ホームズ建設技術教育センターは、建設技能者の継続的な確保と育成を目的に2021年3月に開設した研修施設です。木工事や設備工事の技能実習と、基礎配筋や鉄骨建方などの施工研修ができる実習ゾーン、座学を学べる研修室があり、知識と実技双方の教育を行えます。年次研修やスキルアップを目的とした社員研修はもちろん、グループ内施工関連会社の研修も行い、協力会社も含めた人財育成を支援しています。

04



高品質で安全な
製品の提供

施工現場での品質管理：LLQCS

HEBEL HAUSの品質管理は、ロングライフ住宅品質管理規定(LLQCS:Long Life Quality Control System)に従い、すべての施工現場で実施されています。LLQCSでは携わる人の役割と責務を明確にし、品質検査の仕組みを厳格に規定。各エリアの品質確保水準向上のため、本社では重要構造部である基礎や躯体を定期的に現場監査。品質リーダーの教育や、工事担当が検査員になるための検定実施を通じて、全国の品質確保に努めています。

ダイバーシティの推進

多様な人財の活躍による価値創出を目指し、すべての人が能力を発揮できる環境の整備や自由闊達な組織づくりを進め、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンを推進しています。

人財の確保と育成

「人の成長が組織の成長の源泉」という考えのもと、社員の成長と多様なキャリア形成の実現、マネジメント力の向上などに取り組んでいます。すべての社員が能力や強みを発揮し共創することで、組織の競争力向上を目指します。

生産性の向上

多様な働き方の支援と生産性の向上を目指した制度を数多く運用しています。DXの推進や各種制度の充実により柔軟な働き方の実現と、社員の創造性や挑戦意欲の促進によるイノベーションの創出を目指します。

労働安全衛生の確保

事業活動において、社員が最大限能力を発揮できるよう、安全で快適な職場環境の整備と心身の健康保持増進へ積極的に取り組みます。

2024 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

高品質で安全な製品の提供

お客様に安全・安心で高品質な住まいをお届けするため、製品の開発をはじめ、あらゆる場面で品質管理に努めています。また、入居後の安全・安心が長く続くようアフターサービスの強化にも邁進し、さらなる品質向上を目指しています。

Our Integrity

誠実な事業運営を通じて信頼を築く

私たちは、社会の一員である企業として、公正・透明なガバナンスの実現と、展開する地域における法令はもとより、社会規範の遵守を含めた事業活動の推進を徹底し、健全な経営を行います。また、当社の知識や経験を生かして地域や社会の発展に貢献するため、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを積極的に行っていきます。

マテリアリティ	KPI	2023年度実績	2024年度目標	2025年度目標
コンプライアンス経営の推進	コンプライアンスに対するリテラシーの向上および適切な管理	●eラーニング受講率 品質事案発生防止関連:97.5% ●対話型コンプライアンス研修 実施率:100% ●コンプライアンス推進会議の開催:1回／月 ●内部通報件数:94件(コンプライアンスホットラインおよび各グループ会社の相談窓口の通報件数の合計)　事業遂行に影響を及ぼす重大な案件はなかった。	実績開示	実績開示
情報セキュリティの確保と個人情報保護	情報資産保護に対するリテラシーの向上および適切な管理	●eラーニング受講率 個人情報保護関連:99.7% ●情報セキュリティ訓練の実施回数:2回 ●旭化成グループIT責任者会議:1回／月 ●旭化成グループセキュリティルールおよびセキュリティ対策についての情報の共有・展開	実績開示	実績開示
サプライチェーンマネジメントの強化	CSR調達の推進	主要取引先に対しCSR調達アンケートを実施した。 回収率:100%	アンケート結果に対する評価・分析の実施	取引先に対する面談の実施
ステークホルダーエンゲージメント	持続可能で強い施工体制の構築	**施工人財の定着・育成** ●普通職業訓練 短期課程 プレハブ建築科として、経験の浅い施工者を対象とした内装施工初級訓練を実施した。 ●各エリアの営業本部において、「高い施工品質」や「若手育成」等、それぞれのテーマで工事店現場責任者に対する研修等を企画・実施した。 **工事店・施工者との結束力の強化** ●「第2回 自然災害初期対応訓練」を実施した。具体的な指示や行動の訓練を実施したことで、有事の際の実効性を高めた。 ●施工者に対する健康診断を各エリアで主催し、全国で1487名が受診した。 ●施工者や施工者の家族を含めたレクリエーションを各エリアで実施し、親睦を深めることで施工意欲の向上やロイヤリティの向上に努めた。(ソフトボール大会、クルーズ貸し切りイベント他)	実績開示	実績開示
	施工現場の安全性の向上および近隣への配慮	●旭化成ホームズでは施工現場の安全性向上や近隣への配慮を目的とした「凛とした現場づくり」に向け、全国共通の評価指標を策定している。評価基準をもとに、全エリアでの監査を行い、監査の結果を各工事課および各工事店へフィードバックした。	実績開示	実績開示

01

情報セキュリティの確保と個人情報保護

DXを活用した図面の管理(BRIDGE)

2019年度に独自開発したシステム「BRIDGE」では、ヘーベルハウス・ヘーベルメゾンに関する電子化した図面・文書を一元管理しています。登録された文書はPCやタブレット端末から閲覧・依頼でき、手書きノートアプリと連携すると電子データ文書に朱書きできるなど、現場の業務効率向上とペーパーレス化に貢献します。一方で、登録される文書はお客様の情報にあたるため、担当者と厳選された社内関係者以外のアクセスを制限し、適切に管理しています。

02

サプライチェーンマネジメントの強化

パートナー会社との協働による品質向上と改善活動

従来からパートナー会社の製造工場を訪問し行っている調達部材の現物確認について、訪問頻度を上げつつWeb会議の併用により効率化を推進。信頼関係を構築し品質向上の協働活動も行っています。鉄骨等の特に重要な部材については、原材料の調達から当社でお取引先様を指定。協働改善活動も実施し、品質と生産性双方の向上に努めています。購買先調査では経営・品質だけでなくBCP(事業継続計画)も評価し、新たな災厄に対する対応力を強化しています。

03

ステークホルダーエンゲージメント

凛とした現場づくり

2016年以降、HEBEL HAUSの施工現場では「凛とした現場づくり」をスローガンに取り組みを進めています。「凛」という言葉にはピシッと隙がない、「ひきしまった」態度・状態の意味があり、すべての現場が「凛とした現場」になるべく活動を進めています。2023年度は全エリアでの監査を行い、結果をそれぞれフィードバックしました。また、好事例となる写真を共通のツールに掲載し、全エリアに展開。これからも安全で快適な働きやすい環境の持続に努めていきます。

04

ステークホルダーエンゲージメント

「BORIKI 絵本リユースプロジェクト」

2023年から始まった「BORIKI絵本リユースプロジェクト」は、「子育て共感賃貸住宅『ヘーベルメゾンBORIKI』」の入居者様へ、社員の自宅に眠っていた絵本を「BORIKIえほん箱」と一緒にお届けする取り組みです。使われなくなった資源の有効活用、子どもたちの学びや絵本を通じた交流の機会を創出する効果が得られます。将来的にはBORIKI周辺地域のイベントにも活用し、グループ社員と共にBORIKIを中心とした「地域」での子育て応援に展開していきます。

コンプライアンス経営の推進

健全な事業運営を継続するためには、企業全体でのコンプライアンスの徹底が重要です。「グループ リスク管理・コンプライアンス基本規程」を定めるとともに、リスクの周知・浸透を継続的に行い、事業運営の基盤強化に努めています。

情報セキュリティの確保と個人情報保護

お客様の個人情報や技術的な情報などを漏洩・棄損等から守ることは重要な課題です。情報セキュリティ事故を未然に防ぐ対策や社員のリテラシー向上の教育等を継続するほか、社会の変化に応じた取り組みの見直し・改善も行います。

サプライチェーンマネジメントの強化

私たちの事業活動は、従業員だけでなくお取引先様との協働により成り立っています。密接なコミュニケーションやサプライチェーン全体でサステナビリティの取り組みを推進し、ステークホルダーの皆様に信頼される事業運営を行います。

ステークホルダーエンゲージメント

私たちの事業は多様なステークホルダーとの関わりの上で成り立っています。事業活動を通じて、また事業活動で得られた知見や技術を活かして、地域や社会の発展に貢献し、ステークホルダーの皆様との信頼関係を強化します。

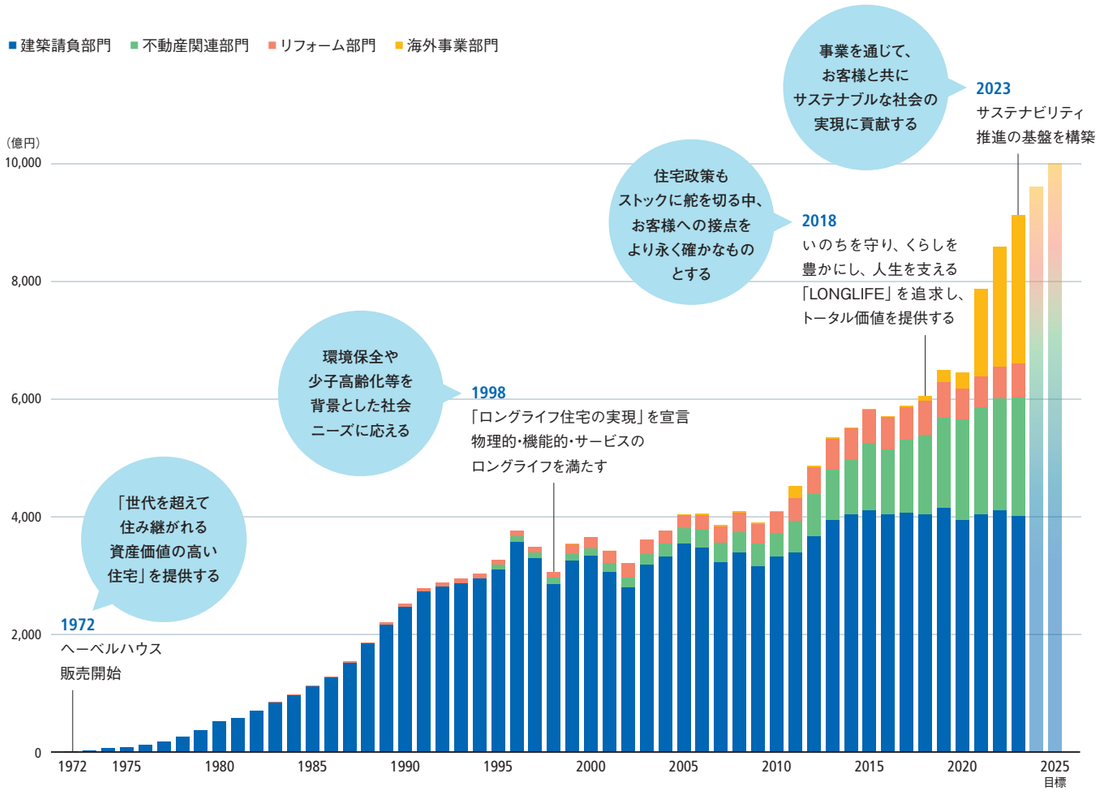
コーポレートガバナンス

私たちは「世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献します」という旭化成グループミッションのもと、真に価値ある会社への成長を目指しています。透明・公正なガバナンス体制の在り方を継続的に追及することで、持続的な成長と長期的な企業価値の向上に取り組みます。

旭化成ホームズグループ概要

これまでの歩み

旭化成ホームズグループは、創業時より「長持ちする住宅」や「社会ニーズに合った住まい方の提案」など、事業を通じて環境や社会に貢献してきました。その想いは今も引き継がれています。



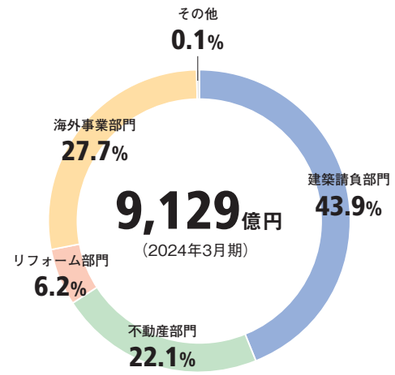
社外からの評価

旭化成ホームズグループの活動に対する外部機関からの評価や受賞実績をご紹介します。今後もサステナビリティにつながる活動を推進していくことで、社会的責任を果たしていきます。

会社概要

社　　名	旭化成ホームズ株式会社
所 在 地	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
設　　立	昭和47年（1972年）11月
資 本 金	32.5億円
売 上 高	9,129億円（2024年3月期連結）
従業員数	7,716人（2024年3月末現在・連結）

旭化成ホームズグループ売上内訳



組織

事 業 所	事業本部…7、支店・営業部…55（2024年4月現在）
主な工場	旭化成住工株式会社 滋賀工場、厚木製造部、栃木製造部 旭化成住工ベトナム有限責任会社

主なグループ会社

旭化成不動産レジデンス株式会社
旭化成リフォーム株式会社
旭化成ホームズコンストラクション株式会社
旭化成ライフライン株式会社
旭化成住工株式会社
中央ビルト工業株式会社
旭化成ホームズフィナンシャル株式会社
旭化成設計株式会社
旭化成ホームズ少額短期保険株式会社
リーシュライフケア株式会社
株式会社コネプラ
旭化成不動産コミュニティ株式会社
旭化成不動産サポート株式会社
旭化成住工ベトナム有限会社（AJV）
NEX Building Group（豪州）
Synergos Companies（米国）
台灣旭化成都市開發股份有限公司

WEBサイトについて

右記二次元バーコード（または下記URL）より、WEBサイトもご覧いただけます。併せてご覧ください。
https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/sustainable/report/index.html/

お問い合わせ先

旭化成ホームズ株式会社 サステナビリティ企画推進部
〒101-8101
東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
FAX：03-6899-3440
お問い合わせ専用メールアドレス：
ah-susrep@om.asahi-kasei.co.jp

サステナビリティレポート2024アンケート

ご意見・ご感想をお聞かせください。

「サステナビリティレポート2024」をお読みいただきありがとうございました。今後の活動を推進するとともに、より分かりやすいレポートを作成するために皆様からのご意見・ご感想をいただければ幸いです。お手数ですが、右記二次元バーコード（または下記URL）のアンケート専用サイトにてご回答をお願いいたします。

https://form.asahi-kasei.co.jp/homes/pub/j-koho/sustainable